

平成22年4月期 第2四半期決算短信

平成21年12月2日

上場会社名 株式会社伊藤園

上場取引所 東

コード番号 2593 URL <http://www.itoen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 本庄 大介

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 副本部長

(氏名) 水野 俊作

四半期報告書提出予定日 平成21年12月15日

配当支払開始予定日

TEL 03-5371-7205

平成22年1月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年4月期第2四半期の連結業績(平成21年5月1日～平成21年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第2四半期	179,506	△1.1	9,161	28.6	8,713	22.6	4,701	47.4
21年4月期第2四半期	181,451	—	7,122	—	7,110	—	3,190	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第2四半期	36.37	36.26
21年4月期第2四半期	24.23	24.15

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第2四半期	174,616	101,901	58.2	816.05
21年4月期	160,803	99,989	62.1	800.94

(参考) 自己資本 22年4月期第2四半期 101,710百万円 21年4月期 99,828百万円

(注)上記の1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	19.00	—	19.00	38.00
22年4月期	—	19.00	—	—	—
22年4月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

上記の配当の状況は普通株式に係る配当であり、第1種優先株式に係る配当の状況については3ページをご覧ください。

3. 平成22年4月期の連結業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	335,500	0.8	12,000	13.1	11,000	6.0	5,200	9.1	38.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

上記の連結業績予想における1株当たり情報は普通株式に係る情報であり、第1種優先株式に係る1株当たり情報については3ページをご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年4月期第2四半期 91,212,380株 21年4月期 91,212,380株

② 期末自己株式数 22年4月期第2四半期 2,013,322株 21年4月期 2,019,425株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年4月期第2四半期 89,198,009株 21年4月期第2四半期 89,191,105株

(注)上記の発行済株式数は普通株式に係る発行済株式数であり、第1種優先株式に係る発行済株式数については3ページをご覧ください。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考)

(1) 第1種優先株式に係る配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
21年4月期	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 —	円 銭 24 00	円 銭 48 00
22年4月期	—	24 00			
22年4月期(予想)			—	24 00	48 00

(2) 第1種優先株式に係る1株当たり情報(累計)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
22年4月期第2四半期	円 銭 41 37	円 銭 41 26
21年4月期第2四半期	29 23	29 15

	1株当たり純資産
22年4月期第2四半期	円 銭 821 05
21年4月期	805 94

(3) 連結業績予想における第1種優先株式に係る1株当たり情報

	1株当たり当期純利益
通期	円 銭 48 96

(4) 発行済株式数(第1種優先株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

22年4月期第2四半期 35,246,962株 21年4月期 35,246,962株

② 期末自己株式数

22年4月期第2四半期 24,002株 21年4月期 21,222株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

22年4月期第2四半期 35,224,527株 21年4月期第2四半期 35,228,429株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づいており、実際の業績は、様々な要因により予想数値とは異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、5ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な在庫調整の進展や、各国の経済対策の効果を背景に、外需を中心に景気を持ち直しているものの、企業収益は減少傾向が続くなど依然として厳しいまま推移しております。

個人消費におきましても、極めて厳しい雇用情勢を背景に、所得環境の悪化から一層の節約志向が強まっており、引き続き低迷を続けております。

飲料業界におきましても、不安定な気象状況に加え、生活防衛意識の高まりから、低価格志向が加速しており、依然として回復の兆しが見えにくく、環境は一層厳しさを増しております。

このような環境のなか、当グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお、何を不満に思っているか」を常に考え、積極的な事業活動を展開してまいりました。

売上に関しましては、主力商品である日本茶飲料は、嗜好性に合わせた品揃えが評価を頂き、底堅く推移いたしました。また、紅茶の新しいおいしさをご提案した「TEAS' TEA NEW YORK」の発売や、映画「ROOKIES (ルーキーズ) -卒業-」とのタイアップ商品を発売するなど、積極的に新製品の投入を行ってまいりましたが、売上高は1,795億6百万円(前年同期比1.1%減)と前年を下まわりました。

利益面におきましては、積極的に原価低減を推進するとともに、販売関連経費を効率的に投入するなど経営の効率化に努め、営業利益は91億61百万円(前年同期比28.6%増)、経常利益は87億13百万円(前年同期比22.6%増)、当期純利益は47億1百万円(前年同期比47.4%増)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,746億16百万円となり、前連結会計年度末と比較して138億13百万円増加いたしました。総資産の主な変動要因は、「現金及び預金」が55億84百万円、有形固定資産の「リース資産」が48億31百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は727億15百万円となり、前連結会計年度末と比較して119億円増加いたしました。負債の主な変動要因は、「借入金」が39億22百万円、「リース債務」が52億17百万円、「未払法人税等」が26億2百万円、それぞれ増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は1,019億1百万円となり、前連結会計年度末と比較して19億12百万円増加いたしました。純資産の主な変動要因は、四半期純利益により47億1百万円増加し、剰余金の配当により25億92百万円減少したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の62.1%から58.2%となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、116億23百万円の収入となりました。主な要因といたしましては、増加要因として税金等調整前四半期純利益86億14百万円、減価償却費30億88百万円、未払消費税等の増加12億40百万円であるのに対し、減少要因として、たな卸資産の増加15億17百万円、法人税等の支払額13億4百万円であったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、52億89百万円の支出となりました。これは主に設備投資及びシステム投資等による支出31億95百万円に加えて、タリーズコーヒージャパン株式会社の株式追加取得による支出9億2百万円、ネオス株式会社ほか投資有価証券の取得による支出14億40百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億86百万円の支出となりました。これは主にタリーズコーヒージャパン株式会社の短期借入れによる純増額が11億77百万円、長期借入れによる収入28億円に対し、ファイナンス・リース債務の返済による支出が17億17百万円、配当金の支払25億32百万円があったことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して59億30百万円増加し、199億18百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期以降におきましては、各種経済対策の実施により景気回復の可能性はありますものの、企業を取り巻く環境は依然として厳しいまま推移すると思われれます。

当グループといたしましては、より厳格な品質管理のもと「自然・健康・安全・良いデザイン・おいしい」の製品開発コンセプトに沿い、お客様に喜んでいただける製品やサービスを提供し、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結業績予想につきましては、第2四半期累計期間までの進捗状況を鑑み、見直しをせず、据え置いております。

なお、当社は平成21年12月2日に開催いたしました取締役会におきまして、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議いたしました。通期の連結業績予想における普通株式および第1種優先株式に係る「1株当たり当期純利益」に、当該事項の影響を織り込んでおりません。

自己株式取得に係る事項の決定に関する内容（平成21年12月2日取締役会決議）

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策遂行を可能にするため、自己株式の取得をするものであります。

2. 取得に係る事項の内容

- (1) 取得する株式の種類 当社第1種優先株式
- (2) 取得し得る株式の総数 550,000株（上限）
（第1種優先株式の発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 1.56%）
- (3) 株式の取得価額の総額 500百万円（上限）
- (4) 取得する期間 平成21年12月3日から平成22年2月22日まで
- (5) 取得方法 信託方式による市場買付

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

・棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末におけるたな卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについて正味売却価額を見積り、簿価切下げを行っております。

・繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

・税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前純損益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,918	14,334
受取手形及び売掛金	29,259	28,617
商品及び製品	16,322	15,515
原材料及び貯蔵品	9,515	8,884
その他	9,769	11,395
貸倒引当金	△94	△123
流動資産合計	84,692	78,624
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,129	15,592
土地	14,039	14,061
リース資産(純額)	17,370	12,539
その他(純額)	4,375	4,033
有形固定資産合計	50,914	46,226
無形固定資産		
のれん	14,371	14,065
リース資産	165	166
その他	10,421	9,071
無形固定資産合計	24,959	23,303
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	14,050	12,649
固定資産合計	89,924	82,178
資産合計	174,616	160,803

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年10月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,572	22,921
短期借入金	1,397	—
リース債務	4,112	2,796
未払費用	12,923	12,382
未払法人税等	3,956	1,354
賞与引当金	3,045	2,565
その他	1,899	1,732
流動負債合計	48,907	43,750
固定負債		
長期借入金	2,525	—
リース債務	14,733	10,832
退職給付引当金	3,961	3,679
その他	2,587	2,551
固定負債合計	23,807	17,064
負債合計	72,715	60,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,912	19,912
資本剰余金	20,259	20,259
利益剰余金	74,236	72,141
自己株式	△4,863	△4,876
株主資本合計	109,544	107,435
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	252	270
繰延ヘッジ損益	△19	△23
土地再評価差額金	△6,196	△6,196
為替換算調整勘定	△1,870	△1,658
評価・換算差額等合計	△7,833	△7,607
新株予約権	12	14
少数株主持分	178	146
純資産合計	101,901	99,989
負債純資産合計	174,616	160,803

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
売上高	181,451	179,506
売上原価	91,658	91,520
売上総利益	89,792	87,986
販売費及び一般管理費	82,670	78,825
営業利益	7,122	9,161
営業外収益		
受取利息	30	11
受取配当金	29	27
持分法による投資利益	25	8
その他	211	156
営業外収益合計	296	203
営業外費用		
支払利息	98	356
為替差損	91	191
その他	118	103
営業外費用合計	308	651
経常利益	7,110	8,713
特別利益		
固定資産売却益	—	2
固定資産受贈益	34	2
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	38	4
特別損失		
固定資産廃棄損	69	36
減損損失	199	30
投資有価証券評価損	498	13
ゴルフ会員権評価損	—	22
その他	4	0
特別損失合計	772	104
税金等調整前四半期純利益	6,375	8,614
法人税等	3,128	3,880
少数株主利益	56	31
四半期純利益	3,190	4,701

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,375	8,614
減価償却費	1,711	3,088
減損損失	199	30
のれん償却額	454	470
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13	△95
賞与引当金の増減額(△は減少)	405	480
退職給付引当金の増減額(△は減少)	204	281
受取利息及び受取配当金	△59	△38
支払利息	98	356
為替差損益(△は益)	12	63
持分法による投資損益(△は益)	△25	△8
固定資産受贈益	△34	△2
固定資産廃棄損	69	36
投資有価証券評価損益(△は益)	498	13
投資有価証券売却損益(△は益)	0	—
売上債権の増減額(△は増加)	231	△707
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,263	△1,517
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△262	1,362
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△202	107
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,784	△1,301
未払消費税等の増減額(△は減少)	△76	1,240
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△237	708
その他	484	55
小計	3,814	13,241
利息及び配当金の受取額	64	44
利息の支払額	△98	△356
法人税等の支払額	△3,086	△1,304
営業活動によるキャッシュ・フロー	694	11,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△1,440
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,957	△3,195
長期前払費用の取得による支出	△133	△81
有形及び無形固定資産の売却による収入	4	33
関係会社株式の取得による支出	△540	△902
投資その他の資産の増減額(△は増加)	5	297
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,622	△5,289

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年5月1日 至平成20年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年5月1日 至平成21年10月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	1,177
長期借入れによる収入	—	2,800
長期借入金の返済による支出	—	△55
自己株式の取得による支出	△8	△4
自己株式の処分による収入	3	1
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△438	△1,717
配当金の支払額	△2,525	△2,532
少数株主への配当金の支払額	—	△52
その他の支出	—	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,968	△386
現金及び現金同等物に係る換算差額	△61	△17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△5,957	5,930
現金及び現金同等物の期首残高	22,549	13,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,591	19,918

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年5月1日 至 平成20年10月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,833	157,667	9,950	181,451	—	181,451
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,833	157,667	9,950	181,451	—	181,451
営業利益	1,797	17,857	185	19,840	(12,717)	7,122

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年5月1日 至 平成21年10月31日)

	茶葉 (リーフ) 関連事業 (百万円)	飲料 (ドリンク) 関連事業 (百万円)	その他の 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	13,965	155,608	9,933	179,506	—	179,506
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	13,965	155,608	9,933	179,506	—	179,506
営業利益	2,087	17,255	590	19,933	(10,771)	9,161

(注) 1 事業区分は製品・商品の種類・性質及び販売方法の類似性を考慮し、茶葉(リーフ)関連、飲料(ドリンク)関連、その他に区分しております。

2 各事業の主な製品及び商品

(1) 茶葉(リーフ)関連事業……緑茶・ウーロン茶等の茶葉(リーフ)製品

(2) 飲料(ドリンク)関連事業……日本茶・中国茶・野菜・果実・コーヒー・紅茶・機能性等の飲料(ドリンク)製品

(3) その他の事業……上記以外の製品及び仕入商品、食材等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。